

科目名			産業医学特論		
科目責任者 久岡正典 (研究科長)					
開講時期: 1年次		単位数: 1単位		時間数: 90分×9回	
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>産業医学分野の高度で幅広い専門的知識を修得する。労働環境に内在する物質的・精神的因子の健康および労働効率に対する影響について理解を深め、健康被害や労働効率低下に対する対策を講ずる能力を養成し、本学の特色でもある産業医精神を涵養する。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 粒子状物質の健康に対する影響と、その評価方法について説明できる。 2) 労働環境と健康との相互関係について説明できる。 3) 地域保健の問題点、およびその解決策について説明できる。 4) 感染性微生物への暴露が免疫疾患に与える影響について説明できる。 5) 産業保健に関する政策、およびリスクアセスメントについて説明できる。 6) 職場のメンタルヘルスの諸問題について説明できる。 7) 生体リズムの変調や睡眠の低下の作業効率に対する影響について説明できる。 8) 産業化学物質の曝露による職業性中毒の事例や機序について説明できる。 9) 労働生産性とその背景因子などについて学術的背景を理解し、産業保健の基本的概念を理解する。 					
● 評価方法		発表等 60%、討論等 20%、レポート等 20%により総合的に評価する。			
● 参考文献		講義の中で必要に応じ紹介する。			